

スタートアップ支援の全県拠点「SHINKA Hyogo (旧：起業プラザひょうご)」の始動

- 10月より「起業プラザひょうご (神戸・尼崎・姫路)」を全県拠点として神戸に集約し支援機能を強化
- 新たなスタートアップ支援の全県拠点の名称は「SHINKA Hyogo」とする

現状 (起業プラザひょうご)

起業家の 創出拠点



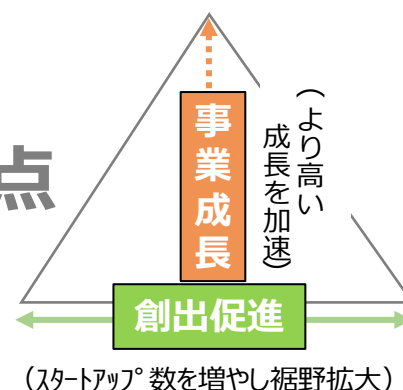
コワーキングスペース、スモールオフィス

R8.10～ (SHINKA Hyogo)

スタートアップの

創出 + 成長拠点

【機能強化イメージ】



[全県拠点化のねらい]

- ① 県内有望スタートアップのスケールアップに加え、素材、AI、ものづくりなど、テック系スタートアップ支援を強化
- ② 地域交通、防災、まちづくりなど、地域の社会課題解決を担うスタートアップの創出・育成を強化
- ③ 内閣府「スタートアップ 総力創出パッケージ (R8.5)」を踏まえ、伴走支援体制の充実

【機能強化メニュー】

1 オープンイノベーションの進化



■ 事業会社向けパートナー会員制度の創設

分野別アドバイザーによる伴走支援、協業先のマッチング支援、新規事業担当者どうしの情報交換会等

■ 企業連携窓口の常設化

スタートアップと企業をつなぐコーディネーターを配置

2 テック系スタートアップ支援の進化

■ 大学発スタートアップの創出

ディープテック領域の研究シーズを発掘し、事業化を支援

■ 研究シーズマッチング

大学の研究シーズを事業会社とマッチング

3 ひょうごTECH イノベーションの深化

■ 自治体連携窓口の常設化

スタートアップと自治体をつなぐコーディネーターを配置

4 他機関との連携深化

■ 大学、海外、金融等 の関係機関との連携

各機関の得意領域を活かした共同イベント、個別支援等

スタートアップ支援の全県拠点の新名称

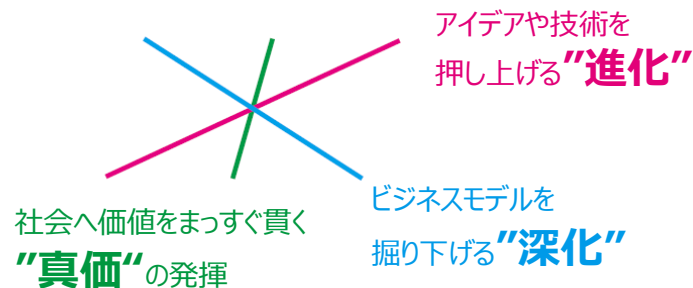
SHINKA Hyogo (シンカ ヒョウゴ)

ロゴマーク



意味

- ① 3つのシンカが重なる。
それぞれの線が、シンカを表現。



- ② アスタリスク＝掛け合わせ
「スタートアップ＊県内企業」や
「スタートアップ＊自治体」による
オープンイノベーションを促進



- ③ 未来に向けてシンカが加速する
イメージを余白スペースに入る
矢印で表現



Startup(スタートアップ)、Hyogo(兵庫)、Innovation(イノベーション)、Knot(結び目)、Acceleration(成長加速)
の頭文字から、「SHINKA」と命名